



日本音楽表現学会
第3回 助成コンサート



長江希代子

ソプラノリサイタル

古式ゆかしき日本の音楽

藤井清水の世界を通して

プログラム

—— 藤井清水の世界 ——

「信田の藪」「港の時雨」「皿屋敷」ほか
『日本民謡曲撰一の巻・二の巻』より
「お婆々どこ行きゃる」(混声四部)
「郡上の八幡」(同声二部)ほか

—— 藤井清水(1889-1944)と
同時代の作曲家の世界 ——

小松耕輔、本居長世、山田耕筰
信時潔、中山晋平、弘田龍太郎
橋本国彦 の作品より

【出演】

ソプラノ: 長江希代子
メゾソプラノ: 西尾富美代 テノール: 大久保亮
バリトン: 末吉利行 ピアノ: 浅野真帆
三味線: 蟹江尾八 尺八: 山田典山
春日井市南城中学校合唱クラブ
春日井市西部中学校合唱クラブ
桜花学園高等学校合唱団・合唱団 ういろう

2027.1.31 日 13:30開演
(13:00開場)

春日井市民会館

春日井市鳥居松町5-44

入場料 3,000円 PiPi会員 2,700円

※ 小人(高校生以下)無料ご招待(要整理券)〈全自由席〉

●チケット取扱い●

文化フォーラム春日井 2階・チケットカウンター

9:00-17:00 月曜休館(祝休日の場合は翌平日)

ジャパン音楽研究所 ☎ 090-4863-4630

◆主 催 ジャパン音楽研究所

◆後 援 春日井市／春日井市教育委員会／(公財)かすが市民文化財団／(株)音楽之友社

名古屋芸術大学／国立大学法人愛知教育大学／愛知県立芸術大学音楽学部同窓会／広島県市藤井清水の会
(一社)たじみ音楽でまちづくり市民協議会／NPO法人 古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク

『日本民謡曲撰 一の巻』復刊、『日本民謡曲撰 二の巻』初出版（音楽之友社）

戦前、日本の民謡の採譜・保存に取り組んだ作曲家・藤井清水。2026年3月『日本民謡曲撰 一の巻』を復刊すると共に、長年埋もれたままとなっていた彼の民謡編曲の自筆譜と解説を『日本民謡曲撰 二の巻』として音楽之友社より初出版したところ、3週間で在庫がなくなり、重版が決定する。今回の助成コンサートでは、日本音楽表現学会『音楽表現学』に掲載された論文からプログラミングし、日本音楽の神髄である日本の音を令和以降に継承していただくことを願い、日本の民謡の発展と普及に努めます。（文責 長江希代子）

■ 藤井清水の生涯と作品（作曲家 1889-1944）

1889（明治22）年、広島県呉市に生まれる。幼い頃より母と兄の邦楽に親しみ、東京音楽学校を卒業後、高等女学校における音楽教育を継続的に続けながらも、民謡の根底に流れる日本音楽のよさを大事にする作曲家であった。作曲の背景には、東京音楽学校入学前頃から始めた「民謡の採譜」があり、これらの採譜は、民謡文化の保存と発展において、文化的な遺産としての評価が高い。しかし、藤井はただ保存するだけではなく、民謡の旋律をなるべく忠実に再現し、拍子や音楽的構造に独自の工夫を加えることで、新しい音楽として蘇らせる民謡編曲の創造に取り組んだり、民謡の要素を取り入れた民謡風歌曲や新民謡の材料に生かしたりしている。1944（昭和19）年に死後出版された『日本民謡曲撰』と、2026（令和8）年に初出版された『日本民謡編曲 二の巻』には、民謡編曲が各50曲、計100曲掲載され、伝統を尊重しつつ、新しいアプローチを取り入れることで、伝統と西洋音楽の技法を融合し、民謡を近代化させ甦らせている。



出演者



長江希代子 Kiyoko NAGAE ● ソプラノ

岐阜県立多治見北高等学校出身。名古屋芸術大学卒業、愛知教育大学大学院修了、第11回万里の長城杯・国際コンクール第1位、第21回藤井清水音楽コンクール最優秀賞他、上位入賞多数。

長年、春日井市で中学校教諭として音楽教育に邁進する（高蔵寺中7年、西部中10年、中部中10年、松原中5年）。平成26年度、愛知県教育委員会教職員表彰を受賞。多治見にて2024年度、たじみ音楽文化賞受賞。2024年度、愛知県立芸術大学大学院博士後期課程（声楽）を単位満期取得退学。

現在、日本音楽（藤井清水）の研究と演奏活動を行うと共に、小中学校から大人まで、合唱指導や歌声講座や講演の講師としても活躍中。2026.3.14 音楽之友社より、『日本民謡曲撰 一の巻』を復刊すると同時に、藤井の遺産である『日本民謡曲撰 二の巻』を初出版し、より多くの人にこれらの作品群を歌っていただけるよう、民謡の発展と普及に努めている。



西尾富美代 ● メゾソプラノ

名古屋芸術大学声楽科卒業。合唱団やオペラグループの指揮・指導を行うほか、小中学校や主宰の音楽教室で後進の育成に力を注いでいる。山梨県北杜市在住。

大久保亮 ● テノール

愛知県立芸術大学卒業。同大学大学院修了。宗教曲ソリストやモーツァルト、ワーグナーなど様々なオペラに出演。現在、愛知県立明和高等学校及び附属中学校非常勤講師。



末吉利行 ● バリトン

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。受難曲、宗教曲（レクイエム等）、オペラの活動が多く、日、伊、仏、独、露、瑞典の歌曲も演奏している。愛知県立芸術大学名誉教授。NHK名古屋文化センター講師。



浅野真帆 ● ピアノ

愛知県立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同大学大学院修了。伴奏や室内楽奏者として活躍する他、後進の指導にも力を入れている。



蟹江尾八 ● 三味線

民謡・端唄 蟹江流家元。著書「愛知県民謡集解説 第一・二巻」「端唄集解説 第一・二巻」「日本民謡に関する知識」。令和3年度「名古屋市芸術奨励賞」を受賞。新民謡の作詞・作曲や愛知県民謡の発掘に務める。



山田典山 ● 尺八

都山流尺八竹琳軒大師範。アンサンブル・リベルタ尺八奏者としてジャンルを問わず活動し、カナダ/オカナガンシンフォニーとソリストとして共演等、海外8か国で演奏ツアー実施。南山大学和楽器講座講師。



● 春日井市立南城中学校合唱クラブ

「いい顔、いい声、いい心」を掲げ、南城中に高蔵寺中・東部中・石尾台中からも歌好きが集まり、コンクールの他、地域の演奏依頼に積極的に参加し、歌う喜びを学んでいる。

● 春日井市立西部中学校合唱クラブ

「心で歌うをモットーに」個性あふれるメンバーたちと楽しく活動！みんなで声を合わせる喜びを感じながら一人ひとりが成長できるよう日々一生懸命練習に励んでいる。

● 桜花学園高等学校合唱団

家族のような存在の仲間達と切磋琢磨しながら、コンサート活動とコンクール出場の2本柱で活動中。桜花サウンド【一音入魂：魂を揺さぶる感動の合唱】をお届けします。

● 合唱団 ういろう

「名古屋から合唱を元気に！」をモットーに、10代から30代の約60名のメンバーが集まり楽しく活動。2027年2月23日（火・祝）ウィルホールにて第18回演奏会を開催。